

令和4年8月1日～8月7日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和4年度第14報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

8月1日～8月7日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、常に「**嚴重警戒**」を示す28以上で、1日～3日にかけては「**危険**」を示す31以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、期間の前半は1～2近く高い状態が続きました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、札幌では「**警戒**」を示す25以上28未満に、広島では「**嚴重警戒**」を示す28以上31未満に、それ以外の都市では「**危険**」を示す31以上になる日がありました(表1、表2参照)。全国を見ると、北海道地方以南で28以上、東北地方以南では31以上となる日がありました。

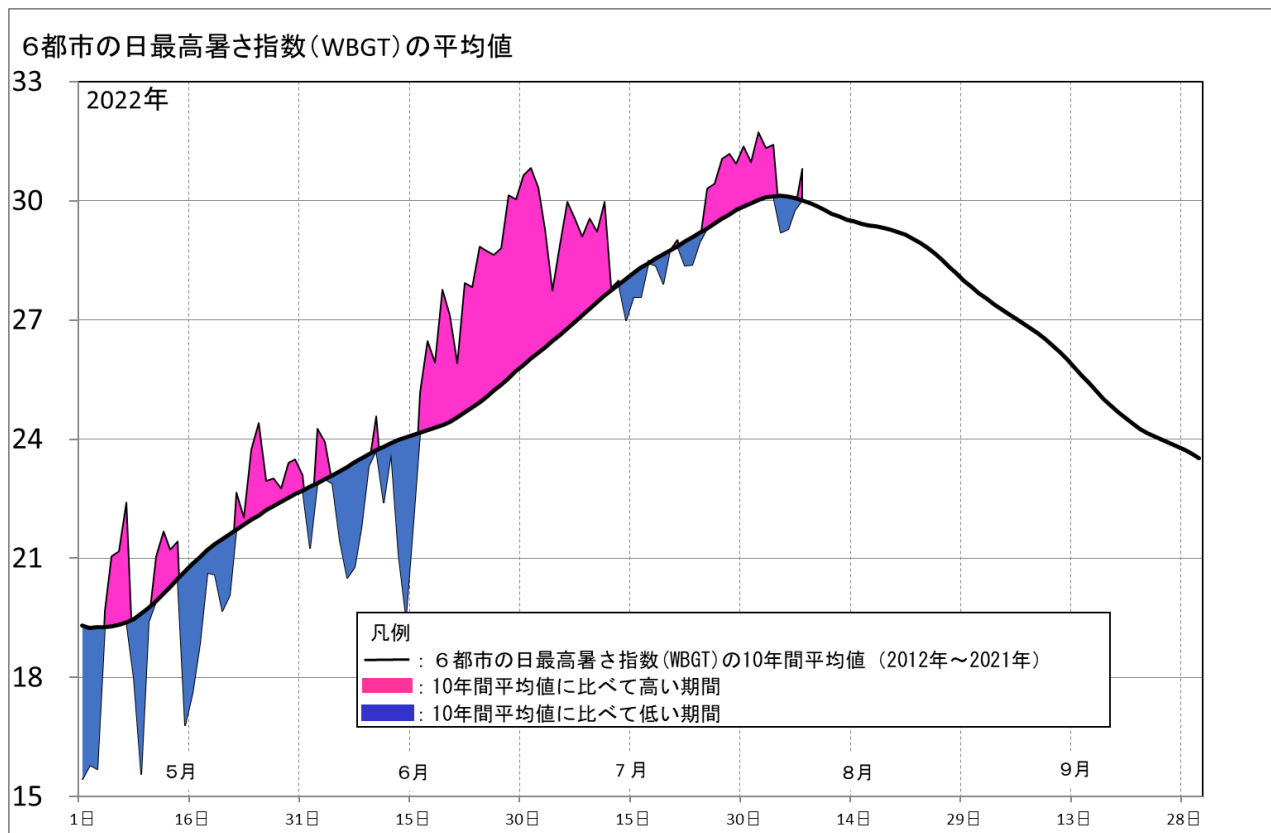


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(8月1日～8月7日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
1	25.6	30.3	31.1	34.4	33.3	30.9	29.3	30.9	31.3	31.8	29.3	31.7
2	25.5	32.2	30.8	33.3	31.7	30.5	29.9	32.1	31.8	31.9	30.7	31.3
3	24.0	26.2	28.3	34.9	30.9	30.8	30.7	32.3	32.9	32.0	29.2	31.4
4	25.1	21.8	29.8	26.1	26.6	30.8	30.2	32.5	31.7	32.0	32.1	29.2
5	22.9	22.8	29.3	27.5	30.7	29.3	27.1	32.1	31.8	31.8	31.2	29.3
6	22.8	23.0	29.5	27.5	29.8	30.4	30.3	31.6	31.1	32.3	31.0	29.8
7	24.0	27.0	30.0	30.7	31.7	31.0	30.2	31.4	31.2	32.4	30.8	30.8

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の8月1日～8月7日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	2	1	21	15	1	0	26	22	32	9
28以上	0	14	49	47	53	49	45	76	70	81	60
25以上	7	54	124	104	126	167	142	157	168	168	166

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

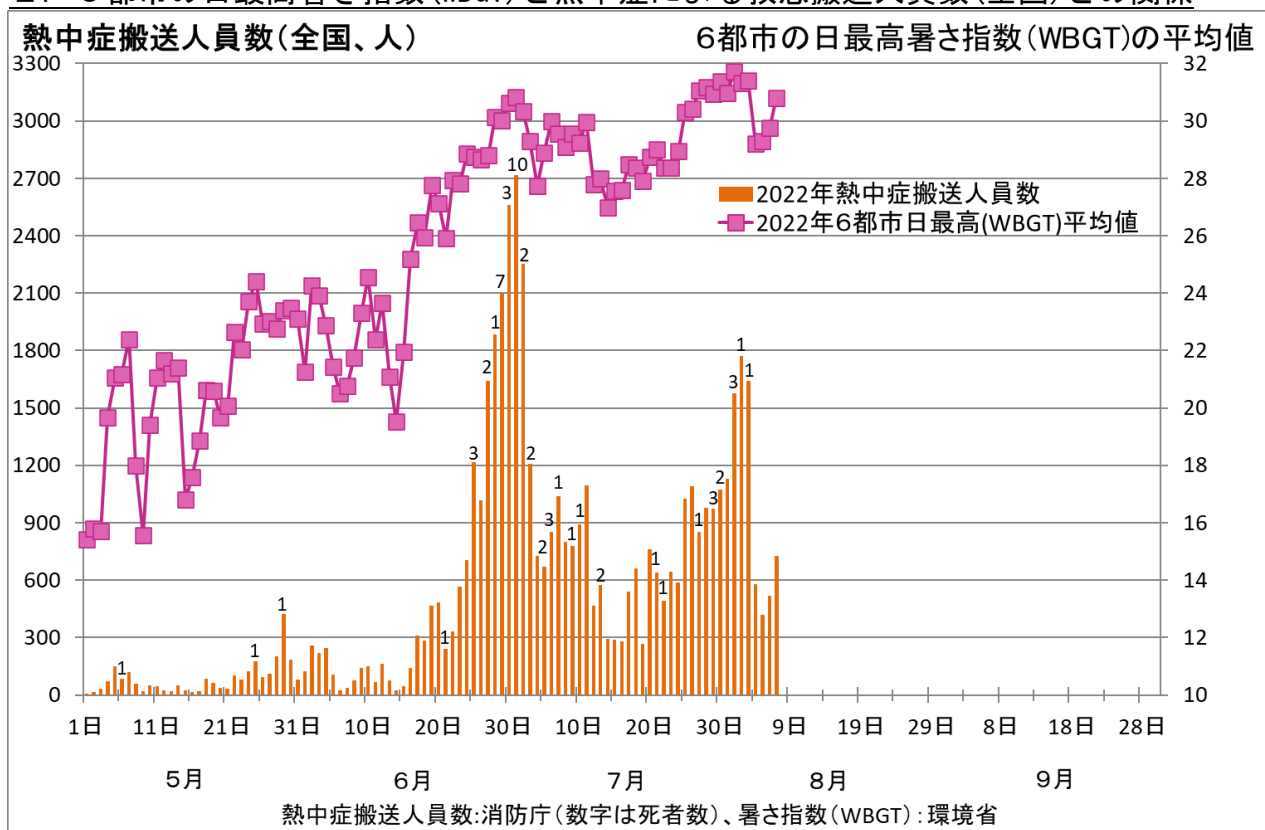


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

8月1日～8月7日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、常に「厳重警戒」を示す28以上で、1日～3日にかけては「危険」を示す31以上となりました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、1日～3日にかけて連日1,500人を超え、この期間の総数は7,218人(死者5名含む)となりました(図2)。

参考

消防庁情報によると、今年5月1日～8月7日の全国累計搬送人員数は、52,452人(5,6月確定値、7,8月速報値)となり、昨年(令和3年)5月1日～9月30日の累計人員数47,877人(確定値)を既に超えています。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

8月1日～8月7日までの熱中症警戒アラート発表状況は、以下のようになっております（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（8月1日～8月7日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	2.8	2.3	3.3	4.3
のべ回数	0	0	25	9	13	26
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美	沖縄	
域内平均 ^{※2}	5.3	6.5	6.3	4.7	1	
のべ回数	21	26	38	14	4	

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

8月12日までは、北海道以南で「厳重警戒」を示す28以上、東北地方以南では「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（8月10日発表、予報期間：8月11日～8月17日）によると、「最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高く、かなり高い所もある見込みです。」となっております^{※4}。

※4：全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。

○猛烈な暑さが続いており、この先も全国的に記録的な暑さが続く見込みです。

- ・外出は避け、夜間を含め、室内をエアコン等で涼しい環境にしましょう。
- ・屋外活動時は適切にマスクを外し、こまめな休憩・水分補給を心掛けましょう。
- ・体調変化に気付きにくい、高齢者・子供への積極的な声かけをお願いします。
- ・大雨災害発生地域の避難・復旧対応時は、熱中症予防にも十分留意願います。

参照：「災害時の熱中症予防」[20220630_heatillness_leaflet_saigai.pdf \(env.go.jp\)](https://www.env.go.jp/20220630_heatillness_leaflet_saigai.pdf)

別図：気象庁の地方予報区・府県予報区の区分について
(気象庁提供図を補足)

北海道		宗谷			
上川・留萌		網走・北見・紋別			
石狩・空知・後志		十勝	釧路・根室		
胆振・日高					
渡島・檜山					
東北					
青森					
秋田		岩手			
山形		宮城			
北陸					
石川		富山		新潟	
福井		岐阜		福島	
中国		長野		群馬	
山梨		山梨		栃木	
茨城		埼玉		東京	
千葉		三重		愛知	
静岡		和歌山		神奈川	
関東甲信					
九州北部		山口		広島	
岡山		鳥取		兵庫	
京都		滋賀		奈良	
大阪		和歌山		徳島	
東海					
愛媛		香川		高知	
四国					
九州南部		鹿児島		宮崎	
奄美		奄美			
近畿					
長崎		佐賀		福岡	
熊本		大分			
九州					
鹿兒島		奄美			
沖縄					
八重山		宮古島		大東島	
沖縄本島					